

# 令和2年度三重県発達障がい児・者に対する専用VR機器等を活用した ソーシャルスキルトレーニングによる学習等実施支援事業費補助金報告書

## 【助成概要】

助成金額：¥ 1,000,000 -

助成物品一覧

導入機器名	機器購入価格 (A)	導入台数 (B)	初期設定に要する費用等 (C)	対象経費の合計額 (D=A×B+C)
CheckPoint社製UTM 1530 NGTP Appliance	401,500	1	198,000	599,500
LENOVO LegionY540	106,590	1		106,590
SurfaceBook3	301,890	1		301,890
			合計	1,007,980

## 【事業実施報告】



### [1-1. Check Point 社製 UTM 導入の目的]

障害児通所支援事業全般において、オンライン下にある PC のデータ保全のため、外部からの不正アクセス、WEB 不正アクセス、アンチウィルス機能、スパム・フィッシングメール、内部の不正アクセス等監視、ネットワーク監視、管理機能を導入し、安全なデータ管理状態を維持・モニタリングする。また子どもの支援活動にオンライン

でのタブレット、PC などを使用した支援があるが、それらのフィルタリング機能なども兼ねる。さらに相談支援や訪問支援などにおいて、外部からの接続運用も想定し、セキュリティー強化を行い、試験運用も行った後に外部からのアクセス管理も行う。外部からの安全性が確保された後、訪問支援員や相談支援などの後に事務所への帰還が必要なければテレワークへと移行するなど柔軟な事業形態をとることができる。

### [1-2. Check Point 社製 UTM 導入の効果]

1. WEB セキュリティーの知識が乏しいスタッフについても安心して情報にアクセスできるようになったことから従業員の満足度は高かった。
2. Wi-Fi 環境も UTM で一定のセキュリティー下での使用が可能となり、従業員や利用者自身も安心して使用可能となり、満足度は高かった。
3. サーバーの一部の情報をオンライン化することが可能となり、スタッフ研修用の機密性の比較的低いものを外部から従業員にアクセス権を付与でき、隙間時間の活用し、研修やスタッフ教育が可能な環境となったため、今後、使用範囲を拡大する。その中にテレワークの要素も付加していくことも検討する。

### [2-1. Microsoft 社製 SurfaceBook3 導入の目的]

1. 感染症対策（パソコンのスタッフに対する個別化）
2. 可搬性を活用した保育所等訪問支援への活用やテレワーク、オンライン支援、事務作業の外部化
- 3.ゲーミング PC の高機能性を活用した VR 等の支援への活用

4. オンライン双方向通信での支援を AI 活用した言語化、テキスト化により業務軽減と記録保持
5. WindowsPC タブレットとしてのタッチ機能も活用し、子どもの視覚評価や心理評価などにも活用する

#### [2-2. Microsoft 社製 SurfaceBook3 導入の効果]

1. パソコンを個別化することにより、スタッフ間感染の対策を講じることができ、スタッフの事務作業等も効率化され満足度は高かった。
2. 保育所等訪問支援への活用は少なかったが、テレワークやオンライン支援、事務作業の外部化での活用が実施でき、感染症対策と合わせて活用でき、効果も高く、満足度も高かった。
- 3.ゲーミング PC の性能を活用し、VR 支援や画像処理、動画処理など子どもの支援にも活用され、利用者の満足度も高かった。
4. オンラインでの面談支援などがあり、それらの会話を AI により言語化、テキスト化することにより記録処理が軽減され、保存性も高まった。
5. タブレット機能が付加されており、視覚支援や心理検査などが可能となり、それらの機密情報を安全に運搬し多職種連携や事業所内活用・保存が可能となった。

#### [3-1. LENOVO 社製 LegionY540 導入の目的]

1. 感染症対策（パソコンのスタッフに対する個別化。
2. 可搬性を活用した保育所等訪問支援への活用やテレワーク、オンライン支援、事務作業の外部化
- 3.ゲーミング PC の高機能性を活用した VR 等の支援への活用
4. オンライン双方向通信での支援を AI 活用した言語化、テキスト化により業務軽減と記録保持

#### [3-2. LENOVO 社製 LegionY540 導入の効果]

1. パソコンを個別化することにより、スタッフ間感染の対策を講じることができ、スタッフの事務作業等も効率化され満足度は高かった。
2. 保育所等訪問支援への活用は少なかったが、テレワークやオンライン支援、事務作業の外部化での活用が実施でき、感染症対策と合わせて活用でき、効果も高く、満足度も高かった。
- 3.ゲーミング PC の性能を活用し、VR 支援や画像処理、動画処理など子どもの支援にも活用され、利用者の満足度も高かった。
4. オンラインでの面談支援などがあり、それらの会話を AI により言語化、テキスト化することにより記録処理が軽減され、保存性も高まった。

#### [今後の事業継続について]

外部からの不正アクセスに関しては UTM により高度なセキュリティを実現できた。しかし運用面や内部からのウィルスなどの持ち込みなどの対策は必要であり、今後の検討課題である。特に運用面は改善できるところがあると思っており、生体認証によるログイン体制の実現などを行っていきたい。

#### [謝辞]

セキュリティなどへの投資がなかなか難しい状況の中、第1次選考では選から漏れたものの、第2次選考で補助対象として採択していただいた三重県には感謝申し上げます。